

広 報

分水嶺



スミレサイシン

第 43 号

平成 24 年 4 月

岩手北部森林管理署
岩手県八幡平市荒屋新町 41-8
050-3160-5895

平成 24 年度の事業開始にあたって

署 長 野藤 昌弘

平成 24 年度のスタート日は、温かい日差しに包まれ、春の息吹が感じられる船出となりましたが、数日後、全国的な強風と降雪により、冬に逆戻りしたような荒れた天気となり、自然の猛威を痛切に感じさせられました。

しかし、国有林には大きな被害も無く、森林の持つ公益的機能や森林整備の重要性を改めて認識し、森林・林業再生プランの完成に向けた取り組みの実現に邁進していこうと気持ちを新たにしましたところでは。

岩手北部森林管理署は、以前より「地域にとって、有って良かったと思われる森林管理署」を目標に、馬淵川上流部の山村・林業を元気にして、美しい森林づくりに職員一丸となって取り組んできました。昨年度は、森林共同施業団地の設定や遊々の森のボランティア化など、「民国連携」を合言葉に、各市町村担当者や地域ボランティアとの交流が深まり、いろいろ相談される機会が増えた気がします。結果、問題点が先取りされ、スムーズな対応につながっていると考えています。

今年度は、「民国連携」の良さを各流域の方々に感じていただくため、森林共同施業団地を設定した箇所路網整備、間伐等の実現を図り、見て、実感してもらう現地検討会などの機会を増やして参ります。

そのほか、多様な森林づくり、高効率な作業システムによる林業再生、コンテナ苗を活用した低コスト造林、森林環境教育・技術開発等を活用した地域振興などに取り組み、「低コスト化」が実感できる取り組みを実現して参ります。

また、自然観察教育林、遊々の森、ふれあいの森などで、「森を歩く」を実践していただき、自然の美しさや不思議さにおいて、いろいろな「気づき」を体感し、森林に興味を持っていただく取り組みも継続して参ります。一方で、森林の力を過信することなく、しっかり能力が発揮できる森林に手入れしておくことの大切さについても、理解が深まるよう取組んで参ります。地域の皆さん、職員一人ひとりが笑顔で過ごせるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



山火事防止運動月間 平成 24 年 3 月 1 日～5 月 31 日



忘れない

山への感謝と

火の始末

——山火事予防運動統一標語——

平成24年度事業概要

収穫量 (m ³)	主伐	24,599m ³			治山	コンクリート谷止工	1基
	間伐	133,519m ³				本数調整伐A	18.60ha
	計	158,118m ³				本数調整伐B	634.63ha
造林		直	請	計	林道	林道新設	3,200m
	被害木整理 (ha)	0	14.20	14.20		維持修繕	200km
	地表処理 (ha)	0	26.07	26.07		改良	4箇所
	地拵 (ha)	0	75.04	75.04		調査設計	2箇所
	植付 (ha)	0	75.04	75.04	測定	検測	4.3km
	下刈 (ha)	0	183.01	183.01		巡検	72.2km
	除伐 (ha)	0	94.51	94.51		刈開	52.0km
	除伐Ⅱ類 (ha)	36.20	22.43	58.63		予備調査	27.2km
	つる切り (ha)	0.04	0	0.04		巡視	436.7km
	歩道整備 (km)	14.20	0	14.20		平成23年度翌債を含む	
販売	立木販売 (m ³)	10,514m ³ (民収分含む)					
	製品販売 (m ³)	28,000m ³					

平成23年度森林・林業技術交流発表会

① 民国連携によるコンテナ苗の実証試験と普及

(最優秀賞)

福田 達胤 浄法寺森林官

松尾 亨 技術専門官

木戸口 佐織 岩手県林業技術センター

渡辺 貞幸 森林育成係長

森林・林業再生プランにおいて、2020年の国産材自給率が50%の目標を掲げて進められているなか再造林費削減のためにコンテナ苗の普及が求められています。九州を始めとしたコンテナ苗の先進地と比較して普及が進んでいない多雪寒冷な気象条件下において、実証試験を岩手県内の民有林と国有林で実証し、問題点の改善に向けた対策を進めるため、岩手県林業技術センターと共同で行った試験と普及活動についての取り組みをまとめてみました。

② 天然更新を活用した牧草地の森林化について

(優秀賞)

松尾 亨 技術専門官

東北地方には、かつては森林であった箇所を地域振興策として、牧草地とし造成した箇所が多数あります。しかし、近年の畜産不振から返地を希望した再森林化の事業が増加しています。このような牧草地は、放牧、採草をやめてもオーチャードやチモシーなど外来牧草の根により森林化が難しく、植栽するにも大面積なため莫大な経費がかかるため、なかなか進んでいません。このような問題点を地掻きによる地表処理を行うことによって解消し、天然更新による森林化の道をさぐる試験を行った中間報告です。

……詳しい資料は、岩手北部森林管理局のホームページ(研究の森)に掲載されております。……

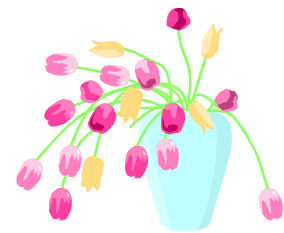
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/iwatehokubu/index.html>

お疲れ様でした・・定年退職をむかえて・・

流域管理調整官 竹田 惣一さん

お世話になりました

小笠原啓一さん 販売課技術指導官（青森事務所）
増田 悠介さん 遠野支署総務課総務係長
佐藤 次郎さん 久慈支署業務課経営係長
木村 雄大さん 宮城北部署業務第一課管理係長
大沢 翔 さん 三陸北部署田野畑森林事務所



に異動となりました。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



竹田調整官を囲んで



異動の皆さんを囲んで

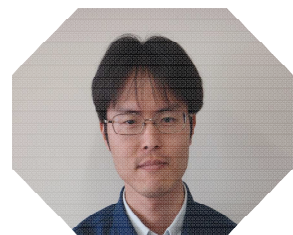
お世話になります



総務課長 齋藤英昭さん

【4月1日付の異動で青森事務所より岩手北部森林管理署にお世話になることになりました総務課長の齋藤です。長い間、業務関係を担当していましたが（ほとんど業務関係）、これから総務関係の業務ということで今までの経験を活かして??活かせるかどうか不安な面も多々ありますが、皆様にご迷惑をかけないようにしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。】

【4月より経営係長として赴任しました有本です。経営係自体初めての業務なので、皆様には何かとご迷惑をおかけしてしまうかと思えます。色々ご指導よろしくお願い致します。野生生物全般に好きで、山菜や茸や星も好きで、登山や沢歩きや溪流釣りも好きで、要するに自然が大好きな男です。署の周辺は遊ぶ所だらけで、仕事以外でも充実した日々が過ごせそうです。】



経営係長 有本実さん



販売係長 堀川洋一さん

【販売係として赴任しました堀川洋一です。出身は石川県でして、こちらの寒さと雪の多さにまだ慣れませんが、東北の方の温かさにほっとしているところです。仕事の面では新米の係長として、勉強・勉強の日々が続いています。皆様にもご迷惑おかけするかもしれませんが、早く地域の皆様のために仕事ができるよう、日々精進してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。】